

New 技術・家庭	技術分野	明日を創造する	年間授業時数	18	学年	3	学級	A～F
-----------	------	---------	--------	----	----	---	----	-----

学習の到達目標	<p>「技術分野目標」</p> <p>＜A 材料と加工の技術＞</p> <p>ものづくりの実習を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する態度を育てる。</p> <p>＜B 生物育成の技術＞</p> <p>生物育成の技術の基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する力と態度を育てる。</p> <p>＜D 情報の技術＞</p> <p>コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、使い計測・制御が行える力を育てる。</p>
使用教材，副教材など	<p>New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する（技術 教育図書）</p> <p>New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する ハンドブック（技術 教育図書）</p> <p>New 伝言板（ニューダイヤ産業株式会社） 栽培実習セット（株式会社コニシ）</p>

学期	月	単元タイトル (題材)	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 ・あきらめない態度で、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
1	4	・金属材料の特徴や種類	・金属の種類や特徴について理解し、どのように使われているかを知る。 ・金属の特性や熱処理について理解する。	・授業、プリントなど		プリント	・プリント
	5						
	6 7 9	・金属製品の製作 ・けがき作業 ・切断 ・穴あけ ・やすりがけ ・仕上げ ・製図	・設計図を見て、どのような加工をするか、 ・製図を通して組み立て方などを理解する。 ・金属材料はけがをしやすいの	・授業、プリント、作業、振り返り、作品、レポートなど	・作品 ・積み重ね総合テスト（6月）	・振り返り、レポート、「作品	・プリント、作品、振り返り、レポート

2	10		で安全に十分配慮した作業ができる。		・積み重ね総合テスト（10月、11月）		
	11		・各作業で道具の正しい使い方を理解する。 ・安全にけががないように指導する。				
	12	・生活や社会を支える生物育成の技術	・教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生活との関わりを理解する	・授業、レポート、作品など	・作品	・レポート	・作品、レポート
	1						
	2	・プログラミングと計測・制御 ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決	・基本的なプログラミングを理解する。	・授業、プリントなど		・プリント	・プリント
3	3						